

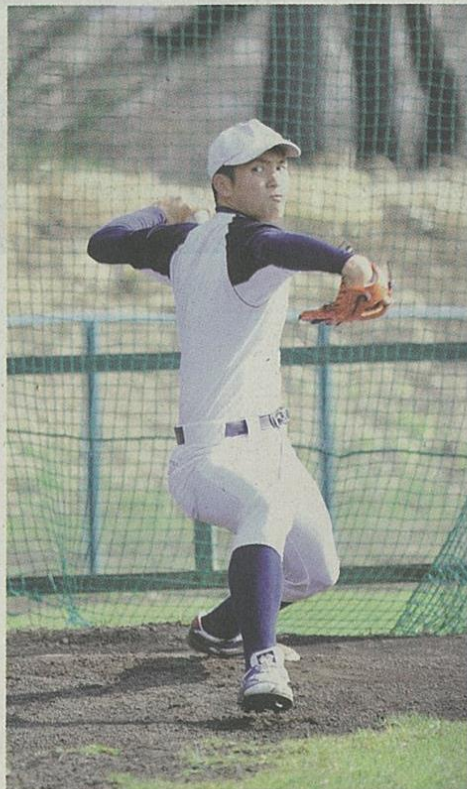
北東北大学野球 あす開幕

八学大 頂点目指し気合 八工大 一丸で上位狙う

北東北大学野球春季リーグが21日、各地で開幕する。青森、岩手、秋田の計16チームが1〜3部に分かれ、順位を競う。1部の八戸学院大はノースアジア大(秋田)、八工大は富士大(岩手)と初戦で激突。1部の優勝校は、全日本大学野球選手権(6月・明治神宮野球場ほか)に出場する。

17年秋季リーグ2位の八学大は、現在8季連続優勝中の富士大の連覇を阻止し、13年秋以来の頂点を目指す。チームの柱は、プロ球団のスカウト陣も熱視線を送る主戦の左腕・高橋優貴(4年、東海大菅生高)。最速152キロの直球を武器に、チームを勝利へ導く。隙のない打線は、上位を狙う富田日南登(3年、三沢商高)や北畠菜人(同、弘学聖愛高)ら青森県出身選手の活躍にも注目したい。

高橋は「大学最後のシーズンに向けて、追い込んで練習できている」と気合十分。「全勝優勝を目指す」と力を込めた。



投球練習に励む八学大の高橋優貴。19日、八戸学院大グラウンド



打撃練習をする八工大ナイン。19日、八工大グラウンド

八工大は、主戦の右腕・工藤甲斐(4年、黒石商

高、主軸の菅原涼太(同、秋田商高)が攻守の要。チーム一丸で上位を狙う。

工藤は昨秋もエースを務め、打たせて取る粘投でチームの勝利に貢献してきた。冬場の練習期間には、体幹トレーニングなどで体の使い方をいま一度見詰め直し、「しっぺしっぺの投球フォームを見つけた」と準備万端だ。

初戦で富士大とぶつかる。工藤は「食らい付いていきたい」と力を込めた。

(金濱千優希)